



製薬会社は、将来のパンデミックへの備えと対応のために、5つの優先事項を推奨しています

2023年2月13日、ジュネーブ-国際社会が、公衆衛生上の緊急事態に備えて対応するために将来のパンデミックアーキテクチャについて議論する中¹、革新的な製薬業界は、COVID-19パンデミックによって明らかになった重要な5つの優先事項の概要を示しています²。これらの優先事項は、パンデミック対策をさらに迅速かつ効果的に開発・展開し、将来のパンデミックの初期段階からより高い健康の公平性を実現するために不可欠です。

新しいアーキテクチャは、このパンデミックに対処する上で有効だと証明されていることを維持する必要があります。すなわち、新興病原体への妨害されない迅速なアクセスと、試行錯誤によって生み出された知的財産のフレームワークに支えられる研究開発エコシステムによって可能となる、活発なイノベーション環境です。一方で、世界的な大規模な取り組みにもかかわらず起こった、新型コロナウイルス感染症のワクチン、治療法、診断薬への不公平なアクセスを克服しなければなりません。パンデミックへの備えと対応のための世界的なアーキテクチャが議論されている中、革新的な製薬業界は実用的なソリューションを共有し、以下の点に注力することを推奨しています。

- 1) 「100日ミッション」³で提案された、新たなパンデミックへの対策の迅速な研究開発に期待される**活発なイノベーションエコシステムを維持すること**、そして**病原体とその遺伝子情報への迅速、確実、かつ自由なアクセスを保証すること**。また、知的財産のインセンティブは、グローバルな健康安全保障を保つための、活発なイノベーションエコシステムにとって不可欠です。これらは、次のパンデミックの前に行われるリスクある投資を可能にするために必要なフレームワークを提供し、自発的なパートナーシップ、企業間協定、技術移転、およびその他連携を促進します。
- 2) パンデミック対応の早い段階で**公平なアクセスを構築し**、**業界の提案**⁴で示されたように、低所得国の優先的な人々に将来のパンデミックのためのワクチンや治療薬のリアルタイムな生産の割り当てを確保し、ワクチンや治療薬を入手しやすくするための措置を講じるとい**う、新しい社会契約を形成すること**。
- 3) 将来のパンデミック時に**大量供給するためのスケールアップが可能**な、**持続可能な製造力をグローバルに育成すること**。持続可能な投資と予測可能な需要をもたらす適切な環境は、既存の製造能力を維持し、他の地域に新たな製造能力を導入するために不可欠です。堅牢な知的財産の保護は、迅速なパートナーシップのための要件です。そのようなパートナーシップには、安全で効果的かつ質の高い製品を生産する持続的かつ経済的に実行可能な製造基盤をもたらす、自発的なライセンス供与や早期の自発的な技術移転が含まれています。

¹ [パンデミックの予防、備え、対応に関する WHO 条約、協定、またはその他の国際文書を起草し、交渉する政府間交渉機関 \(INB\)、国際保健規則 \(IHR\)、100 日ミッション：将来のパンデミックに備えたワクチン、治療法、検査法の開発。](#)

² これらの5つの優先事項は、革新的な製薬業界の「[新型コロナウイルスワクチンの公平性を速やかに推進するための5つのステップ](#)」に基づいています (2021年5月19日)。

³ [第2回100日間のミッション実施報告書。](#)

⁴ [ベルリン宣言：パンデミックにおける公平なアクセスのための産業界のビジョン](#) (2022年7月19日)を発表しました。このフレームワークは、[バイオテクノロジーイノベーション協会 \(BIO\)](#) と [開発途上国ワクチン製造業者ネットワーク \(DCVMN\)](#) により承認されています (2022年10月23日)。

- 4) 開かれた国境と貿易制限の撤廃によって、世界の健康安全保障に貢献する貿易環境を支援すること。これらは、ワクチン・ナショナリズムに対抗し、また、ワクチン、治療薬、それらの原材料や供給品の自由な移動を可能とし、また、製造支援のための技術的なノウハウの共有に必要とされる人々の移動を可能にするものです。
- 5) 生涯を通じた予防接種プログラムを含む、主要な保健システム機能への投資を通じて、**将来のパンデミックを予測して対応できるように、各国の準備態勢を強化するための継続的な取り組みを支援すること**。病原体の共有と疾病サーベイランスの改善と拡大が必要であり、また、日常的で不可欠な保健医療サービスへのアクセスを維持しながら、すべての国の人々にパンデミックワクチン、治療法、診断とケアを提供するための強力なパンデミック計画も必要です。この進展は、効果的なパンデミックの予防、備え、対応に不可欠な基盤であるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の進展の上に築かれ、それを補完するものでなければなりません。

将来の脅威を予防し、検出し、対応するための私たちの総合的な能力を強化するための、これらの取り組みと実用的な解決策は、産業界がグローバルアーキテクチャの議論に参加できるような連携と、強靱な保健医療制度内でパンデミックへの備えを確立し維持するために各国が利用できる資金調達メカニズムが明確であることによって実証されます。

IFPMA について

国際製薬団体連合会（IFPMA）は、世界の 90 以上の革新的な製薬会社と協会を代表しています。私たちの業界では、約 300 万人の従業員が、世界の健康を促進する医薬品やワクチンを発見、開発、提供しています。ジュネーブに本部を置く IFPMA は、国連と正式な関係を持ち、業界の専門知識を提供することで世界の健康コミュニティが世界中の人々の生活を向上させるのに貢献しています。

詳細については、以下をご覧ください ifpma.org。